

## 令和3年6月定例会 地方創生・行財政改革特別委員会の概要

令和3年6月30日（水）

令和3年6月定例会 地方創生・行財政改革特別委員会における発言

### 平松委員

移住施策を進めている市町村は、財源や職員数が県南部の市町村と比べて少ないが、移住施策を進めていくためには、県がより能動的に関わっていくべきではないか。

### 地域経営局長兼地域政策課長

御指摘のとおり、移住施策に積極的に取り組んでいる市町村は人口減少が進み財政的に弱い部分がある。県は、サテライトオフィスや移住お試し住宅のハード整備をふるさと創造資金で財政支援している。あわせて、企業等と連携して人を呼び込む取組等を県として 能動的に進めていく。

### 平松委員

先ほど内沼委員も質問されたとおり、今は移住施策を進めるチャンスであり生かしていただきたい。そのためにはメインターゲットを明確化していく必要があり、それによって効果的なPRもできる。競合となる他県の分析を行い、埼玉県ならではの強みを明確にし、メインターゲットに対してPRしていくべきではないか。

### 地域経営局長兼地域政策課長

東京都に1時間程度で通え、緑豊かな自然が享受できるところが本県の強みである。また、子育てをしながらテレワークで東京に通う方々をイメージして取組を進めている。昨年取り組んだプロモーション動画も、子育て世代でテレワークをする方をイメージして作成した。また、テレワーク環境の整備については、先ほども申し上げたとおり秩父地域で整備が進んでいるが、しっかりと支援していく

### 平松委員

東京都に隣接し自然豊かで1時間で通えるというのは、神奈川県や千葉県でも可能であると思う。そうではなくて、埼玉県ならではの強みを見つける、又は作っていくべきではないか。

### 地域経営局長兼地域政策課長

神奈川県や千葉県との差別化は難しい部分があるが、本県は地震による津波被害がなく、比較的災害に強いとも言われており、安心・安全が強みであるといえる。また、川の国埼玉

といわれるように多くの清流がある。このような良い部分をしっかりと打ち出し、ターゲットを定め、埼玉県に呼び込んでいく。